

薬剤の使用に際しては、必ず商品の説明書をよく読んで、記載内容に従ってお使いください。

最新の適用病害虫名・対象作物名については、[メーカーのホームページ](#)をご参照、または、お問い合わせください。

(こちらに掲載している内容は、2020年5月現在の内容です)

適用病害と使用方法

※印は収穫物への残留回避のため、本剤及びTPNを含む農薬の総使用回数の制限を示します。

- 散布剤として使用する場合

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	総使用回数※	使用方法
ばら	黒星病、うどんこ病、斑点病	1,000倍	100～300L/10a	-	6回以内	散布
花き類・観葉植物(ばら、きく、チューリップ、ゆり、りんどうを除く)	うどんこ病、斑点病					
きく	黒斑病、褐斑病、白さび病、うどんこ病、斑点病					
チューリップ	褐色斑鮑					
ゆり	葉枯病、斑点病					
りんどう	葉枯病、褐斑病					
西洋芝(ベントグラス、バーミューダグラス)	ヘルミントスボリウム葉枯病、葉腐病(ブラウンパッチ)	500～750倍	1L/平方メートル	発病初期	8回以内	
しそ	斑点病(株枯症)	1,000倍	150L/10a	収穫前日まで	4回以内	株元散布
なす	黒枯病、灰色かび病、すすかび病、うどんこ病					
きゅうり	べと病、炭疽病、うどんこ病、黒星病、灰色かび病、褐斑病					
トマト	疫病、輪紋病、葉かび病、炭疽病、灰色かび病、すすかび病、うどんこ病、褐色輪紋病	1,000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	本剤:8回以内、TPN: 10回以内(土壤灌注は2回以内、散布及び常温煙霧及びくん煙及びエアゾル剤の噴射は合計8回以内) 本剤:4回以内、TPN: 6回以内(土壤灌注は2回以内、散布及びくん煙及びエアゾル剤の噴射は合計4回以内)	散布
ミニトマト	疫病、輪紋病、葉かび病、炭疽病、灰色かび病、すすかび病、うどんこ病、斑点病、褐色輪紋病					
ピーマン	斑点病、うどんこ病、黒枯病、炭疽病					
オクラ	葉すす病					
レタス	すそ枯病、べと病、灰色かび病					
リーフレタス	すそ枯病、べと病	1,000倍	100～300L/10a	収穫14日前まで	本剤:3回以内、TPN:5回以内(土壤灌注は2回以内散布は3回以内)	
なばな類(なばな槐)	白さび病、べと病、白斑病、黒斑病			帷21日前まで	2回以内	
なばな				収穫60日前まで	3回以内	
ひろしまな	白斑病			出蓄前但し収穫21日前まで		
				収穫28日前まで	2回以内	

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	総使用回数※	使用方法
キャベツ	べと病、根朽病	1,000倍	100～300L/10a	収穫14日前まで	本剤:2回以内、TPN:3回以内(は種又は定植前の土壤混和は1回以内、散布及びエアゾル剤の噴射は合計2回以内)	散布
はくさい	白斑病、べと病、黒斑病、白さび病			収穫7日前まで	本剤:2回以内TPN:3回以内(は種又は定植前の土壤混和は1回以内、散布は2回以内)	
ブロッコリー	べと病			出蕾前但し、収穫21日前まで	本剤:2回以内、TPN:3回以内(土壤灌注は1回以内、散布は2回以内)	
カリフラワー				出蕾前但し、収穫14日前まで	3回以内	
だいこん	白さび病、ワツカ症、白斑病、炭疽病			収穫45日前まで		
しょうが	紋枯病、白星病			収穫14日前まで	5回以内	
みょうが(花穂)	葉枯病、紋枯病				4回以内	
みょうが(茎葉)				みょうが(花穂)の収穫14日前まで 但し花穂を収穫しない場合にあっては開花期終了まで		
らっかせい	褐斑病	500倍		収穫14日前まで		
ねぎ	黒斑病、べと病、小菌核腐敗病、葉枯病、さび病	1,000倍	100～300L/10a		本剤:3回以内、TPN:4回以内(土壤灌注は1回以内、散布は3回以内)	
わけぎ					本剤:2回以内、TPN:3回以内(土壤灌注は1回以内、散布は2回以内)	
らっきょう	灰色かび病				3回以内	
たまねぎ	べと病、灰色かび病、白色疫病			収穫7日前まで	6回以内	
にんにく	葉枯病、黄斑病、白斑葉枯病、さび病			収穫7日前まで	6回以内	
にんじん	黒葉枯病				本剤: 5回以内、TPN:5回以内(種子への吹き付け処理1回以内)	
ばれいしょ	疫病	500～1,000倍			5回以内	
	夏疫病	1,000倍		収穫前日まで	4回以内	
うり類(漬物用、ただし、ゆうがおを除く)	炭疽病、うどんこ病、べと病、つる枯病					
にがうり	炭疽病、うどんこ病、べと病、斑点病、つる枯病				5回以内	
ゆうがお	炭疽病、うどんこ病、べと病					
かぼちゃ	べと病、白斑病、うどんこ病			収穫7日前まで	3回以内	
ズッキーニ	うどんこ病			収穫前日まで		
ごぼう					5回以内	
すいか	炭疽病	700倍		収穫3日前まで		
	つる枯病	700～1,000倍				
メロン	うどんこ病	700倍				
	べと病	700～1,000倍				
	つる枯病	1,000倍				

作物名	適用病害名	希釀倍数	使用液量	使用時期	総使用回数※	使用方法		
セルリー	斑点病、萎縮炭疽病	1,000倍	100～300L/10a	収穫21日前まで	2回以内	散布		
やまのいも	炭疽病、葉渋病、つる枯病			収穫30日前まで	6回以内			
やまのいも (むかご)				収穫45日前まで				
アスパラガス	茎枯病、斑点病、褐斑病、疫病		100～400L/10a	収穫前日前まで	4回以内			
みつば	べと病			根株養成期但し 収穫75日前まで	3回以内			
うど	黒斑病		100～300L/10a	根株養成期但し 収穫200日前まで	本剤:3回以内、TPN:4回以内(散布は3回以内、根株瞬間浸漬は1回以内)			
ふき	灰色かび病			収穫21日前まで	2回以内			
あしたば	黒枯病			収穫30日前まで	3回以内			
しゃくやく (薬用)	うどんこ病			収穫45日前まで	15回以内(1年間に3回以内)			
みしまさいこ	炭疽病			収穫30日前まで	3回以内			
食用ぎく	褐斑病	1,000倍			4回以内			
食用ゆり	葉枯病			収穫14日前まで	6回以内			
てんさい	褐斑病			収穫30日前まで	3回以内			
りんご	斑点落葉病、モニリア病、黒星病	200～700L/10a	収穫45日前まで					
なし	黒斑病、黒星病	1,000倍	200～700L/10a	収穫45日前まで	本剤:3回以内、TPN:3回以内(休眠期は1回以内)			
もも	灰星病、黒星病			収穫前日まで	6回以内			
ネクタリン					2回以内			
いちじく	疫病、黒葉枯病、黒かび病、さび病				5回以内			
パパイヤ	炭疽病							
キウイフルーツ	果実軟腐病	500～1,000倍		収穫60日前まで	7回以内			
	すす斑病							
バッショングルーツ	円斑病、疫病	1,000倍		収穫14日前まで	3回以内			
かりん	黒点病、ごま色斑点病、白かび斑点病			収穫45日前まで				
マルメロ	ごま色斑点病			収穫30日前まで	4回以内			
茶	もち病、炭疽病、輪斑病、新梢枯死症(輪斑病菌による)	700～1,000倍	200～400L/10a	摘採10日前まで	1回			
	網もち病、褐色円星病	1,000倍						
	黒葉腐病、灰色かび病	700倍						
もりあざみ	ステムフィリウム葉枯症	1,000倍	100～300L/10a	収穫30日前まで	3回以内			
たばこ	うどんこ病	700～1,000倍	25～150L/10a	-	2回以内			
しきみ	炭疽病	1,000倍			6回以内			
つつじ類	褐斑病	200～700L/10a						

・土壤灌注剤として使用する場合

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期※	総使用回数※	使用方法
レタス	ビッグベイン病	1,000倍	1.5～3L/平方メートル	収穫42日前まで	本剤:2回以内、TPN:5回以内(散布は3回以内、土壤灌注は2回以内)	土壤灌注
プロッコリー	根こぶ病		3L/平方メートル	定植時	本剤:1回、TPN:3回以内(散布は2回以内、土壤灌注は1回以内)	
ねぎ	苗立枯病(リソク トニア菌)	500倍	0.5L/平方メートル	出芽揃い後(出芽3日 後から10日後まで)	本剤:1回、TPN:4回以内(土壤灌注は1回以内、散布は3回以内)	
			セル成型育苗トレイまたはペ ーパーポット1冊 (30×60cm)、使用土壤約5L 当り0.5L		本剤:1回、TPN:3回以内(土壤灌注は1回以内、散布は2回以内)	
わけぎ			0.5L/平方メートル			
みずな	立枯病	1,000倍	3L/平方メートル	は種時	1回	
稻(箱育苗)	苗立枯病(リソー プス菌)	500～ 1,000倍	育苗箱(30×60×3cm、使用 土壤約5(l))1箱当り希釀液 500ml	は種時から緑化期但 し、は種14日後まで	2回以内	
		1,000～ 2,000倍	育苗箱(30×60×3cm、使用 土壤約5(l))1箱当り希釀液 1(l)			
きゅうり	苗立枯病(リソク トニア菌)	1,000倍	3L/平方メートル	は種時又は活着後但 し、定植14日後まで	本剤:2回以内、TPN:10回以内(土壤灌 注は2回以内、散布及びくん煙及びエ ゾル剤の噴射は合計8回以内)	
トマト					本剤:2回以内、TPN:6回以内(土壤灌 注は2回以内、散布及びくん煙及びエ ゾル剤の噴射は合計4回以内)	

・種子消毒剤として使用する場合

作物名	適用病害 名	希釈倍 数	使用液量	使用時 期	総使用回数※	使用方法
にんじ ん	黒葉枯病	12倍	乾燥種子1kg当り 60ml	は種前	本剤:1回、TPN:5回以内(種子への吹き付け処理は1回 以内)	吹き付け処理(種子消毒機使 用)

・常温煙霧剤として使用する場合

作物名	適用病害 名	希釈倍 数	使用液量	使用時 期	総使用回数※	使用方法
にんじ ん	黒葉枯病	12倍	乾燥種子1kg当り 60ml	は種前	本剤:1回、TPN:5回以内(種子への吹き付け処理は1回 以内)	吹き付け処理(種子消毒機使 用)

効果・薬害等の注意

- 使用直前に、容器をよく振ってください。
- 石灰硫黄合剤との混用はさけてください。
- 花き類に使用する場合、花弁に薬液が付着しますと漂白・退色などによる斑点を生じる場合がありますので、着色期以降の散布はさけてください。
- 花き類に使用する場合、薬液による汚れが生じるおそれがありますので、収穫間際の散布は避けてください。
- しそに使用する場合、薬液による汚れが生じるおそれがありますので、葉にかかるないように株元に散布してください。
- レタスに使用する場合、生育遅延のおそれがありますので高温期の灌注はさけてください。
- 芝に使用する場合、夏期高温時の散布、特に暖地では葉に薬害(黄変または褐変)を生じることがありますので注意してください。
- りんごに使用する場合、次の事項に注意してください。
 - ・ゴールデンの後代品種(つがる、世界一、ジョナゴールド等)には、葉に薬害を生じますので使用しないでください。

- ・本剤の散布により、サビ果が多くなるおそれがありますので、落花後20日間は散布しないでください。
- ・なしに使用する場合、二十世紀以外の品種には葉に薬害を生じますので使用しないでください。また、二十世紀であっても7月以前に使用すると葉に薬害を生じますので、7月以降に使用してください。
- ・有袋栽培のものの場合、除袋直後の散布は果面に日焼け症状が出るおそれがありますのでさけてください。
- ・いちじくに使用する場合、果実に薬害が発生するおそれがありますので、果実肥大期の初期あるいは夏期高温時の散布はさけてください。
- ・ねぎ及びわけぎに土壤灌注として使う場合、は種時から出芽直後の処理においては生育抑制のおそれがありますので注意してください。
- ・常温煙霧として使用する場合は、次の事項に注意してください。
 - ・専用の常温煙霧機により所定の方法で煙霧してください。特に常温煙霧装置の選定及び使用にあたっては、病害虫防除等関係機関の指導を受けてください。
 - ・煙霧が直接作物に当たると汚れが生じるおそれがありますので、施設上部に噴頭部を設置するなど、煙霧が作物に直接当たらないようにしてください。
 - ・作業は出来るだけ夕方にを行い、終了後は6時間以上密閉してください。
- ・ストレプトマイシン剤及びホセチル剤と混用する場合、必ず本剤を先に所定の濃度に希釀してからそれぞれの剤を加えてください。
- ・本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所または販売店等と相談することが望ましいです。
- ・稻(箱育苗)に使用する場合、次の事項に注意してください。
 - ・綠化期に使用する場合、発病後の処理では効果が劣ることがありますので注意してください。
 - ・育苗箱から希釀液が漏出しないように注意してください。
- ・適用作物群に属する作物またはその新品種にはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所または販売店等と相談することが望ましいです。

薬剤の使用に関する注意事項

適正かつ安全に使用していただくため基本的な注意事項をご案内します。

薬剤の使用に関する注意事項